

◆地球と子どもたちの未来のために
FIAT×子供地球基金

イタリアのコンテンポラリー・アート界を代表する画家ジュリアーノゲッリ氏による自然をテーマにしたペイントが施された世界に一台の限定車。このフィアット500エコアートが、2008年7月5日～19日までYahoo!オークションに出品され、落札額は2,251,000円となり、落札額の95%が子供地球基金に寄付されました。環境への負荷を最小限に抑えた車作りを目指すフィアットとゲッリ氏のコラボレーションは、乗る人・見る人・未来の子どもたちのための地球、すべてに優しさを与えてくれる、すばらしいエコアート企画です。



◆子どもたちの絵が楽しめる「アートルースプログラム」

子供地球基金 協賛活動のひとつ「アートルースプログラム」。世界中から集められた子どもたちのアートを、一定期間リースして頂くことにより、貸出料を子どもたちへの支援活動のためにご寄付頂くプログラムです。オフィスやショールーム、インテリアショップや美容院の店頭など色々な場面でのご利用がどんどん広がっています。

オフィスに展示頂いている企業からは、社員の皆様のみならず、ご来客の方々にもご好評頂いているとお声ををお寄せ頂くことも。子どもたちのアートでさらに素敵な空間を作ってみませんか。



1. まずは好みの作品をお選びください
2. 寄付 ※リースは全て寄付としての扱いとなります
サイズ小 3,000円/月 程度～
サイズ大 5,000円/月 程度～ 送料は別途ご負担ください
3. リース期間: 6ヶ月～

◆MUJI×子供地球基金

この秋、無印良品より子どもの絵をデザインしたバッグが発売となります。今回デザインに用いられるのは中国、ポーランド、ドイツ、アルゼンチン、スリランカの子どもたちの作品。子どもから大人まで、幅広くお使い頂ける5種類のデザインが出来上がりました。

10/1の全国338店舗での発売にさきがけ、東京・有楽町のATELIER MUJIでは、9月23日(火)より世界中から集められた子どもたちの絵の展覧会を開催。20周年記念事業タベストリープロジェクトをはじめ、100点近い作品が展示されます。バッグの先行発売もございますので、是非お立ち寄りください。

【無印良品有楽町ATELIER MUJI】
東京都千代田区丸の内3-8-3 インフォス有楽町3F
展覧会日程: 9/23(火)～10/15(水)

そして新宿に新しくオープンしたMUJI新宿にも子どもたちの絵が登場。心温まる作品の数々をお楽しみください。

【MUJI新宿ATELIER】
東京都新宿区新宿3-15-15 新宿ピカデリー B1F

さらには、11月からはクリスマスに向けてフェルオーナメントやバスグッズなどのギフトがチャリティグッズとして発売されます。海外でも展開される「WORLD MUJI Xmas」。一部商品の収益が子供地球基金への寄付となる、贈る人にも贈られる人にも心温まるかわいいギフトです。お世話になった方や友達へ、優しい気持ちを込めたクリスマスプレゼントにおススメです。

◆創立20周年記念出版 子どもたちの絵画集

20年に渡り子供地球基金に寄せられた世界中の子どもたちの絵。今冬、これらを集めた絵画集が完成します。

およそ40カ国から届いた子どもたちのまっすぐな絵には、元気や希望に溢れるものもあれば、おとなたちが少し考えさせられるものも。素直な気持ち、温かい気持ちがいっぱいの子どもたちからのクリスマスプレゼントです。12月上旬、美術出版社より発売予定。どうぞお楽しみに。



各税込525円

■ NEW MEMBER 新規にご入会いただいた方々です

【個人会員】 長崎 厚 様 山口悦子 様 ジェイドディッシャー 様 小野寺 和代 様 平沼万理 様 藤田 真理子様
松谷貴子様 井上岳史様 若林淑子様 成田 由加里様 松井 由紀子様

【法人会員】 井関産業 株式会社 日本シイベルヘグナー 株式会社 株式会社 バドゥリオン 株式会社 良品計画

(2008年3月1日～2008年8月31日現在・五十音順)

インド南部におけるアートワークショップ



インド最南部東側、ベンガル湾に面するタミル・ナドゥ州。州都チェンナイから車で約3時間のポンディシェリ市は、2004年のスマトラ沖地震の津波により、生活基盤となる漁業、農業に甚大な被害を受けた地区のひとつです。

6月22日（日）、キャドバリー・ジャパンの協力を得て、キャドバリー・グループが2004年より支援活動を行うポンディシェリ周辺の2つの村落において、カースト最下層にある子どもたちおよそ300人を対象としたアートワークショップが実現しました。



今回のアートワークショップでは、既に8カ国で展開してきたタペストリープロジェクト、そして大きなキャンバスに自由に絵を描くという2つの作品作りに挑戦しました。

村の小学校に集まった5歳から15歳までの子どもたちは、絵筆や絵の具を用いて絵を描いた経験がなく、ボールに出された色とりどりの絵の具、そして大きなキャンバスを前に、最初は少し緊張するような場面も。それでも真っ白だったキャンバスは、子どもたちによって徐々に色づけられていきました。明るく、元気な色で描かれたのは、家、海や山などの景色、動物などさまざま。身近なものを描くことによって、子どもたちの世界が窺い知れるような作品が出来上がりました。

このアートワークショップに参加した子どもたちの多くが、カーストが低いことを理由に、物質的のみならず、何かを経験する機会さえ平等に得られないという状況にあります。今回、絵



を描くことで自分を表現するという、子どもたちにとって初めての経験となりましたが、将来的にもっともっと多くの経験が出来る機会が増えればと願います。



ア・ミマラ美術館をはじめとする展覧会に出展され、世界中の人々にメッセージを発信します。



KIDS EARTH HOME Project

キッズ・アース・ホームプロジェクト

第1号 キッズ・アース・ホーム in クロアチア

子供地球基金では、戦争直後の1996年よりクロアチアでの活動を開始。ボスニアとの国境付近に位置するトプスコ市とグボズド市という隣接する2つの市で、地元根付いた活動を行っています。戦後10年余り経つにも関わらず、この地域での戦争の影響は今なお生々しく残っています。アルコールやドラッグ依存、家庭内暴力や虐待、子どもの教育に関心な親が多く存在し、経済的にも全く自立できていません。実際に戦争を体験してはいなくとも、二次的被害者である子どもたちが、心のトラウマを無くし、これからの社会を変えていく希望を持てる環境づくりのため、子供地球基金では、今年、子供地球基金クロアチア支部を現地法人として立ち上げ、キッズ・アース・ホームの再建事業を皮切りに、より長期的な視野での活動を開始しました。



子どもたちも手伝って、新しいホームの建物のまわりを掃除しました。完成は今秋予定。次号会報では、再建したホームの様子をお届けします。

美しい地球を残そう！ Painting & Planting Project

キッズ・アース・ホームの子どもたちは、人権問題や国際理解につながるプログラムのほかにも、地球環境に関する取り組みにも挑戦しました。この国でも、温暖化問題は深刻で、降水量や積雪も年々減少傾向にあるとのこと。キッ

ズ・アース・ホームでのプログラムを通して、自然を大切に作る気持ちをみんなで育んでいます。今回は、落ちている木の枝をみんなで拾い、絵の具をつけて、絵筆代わりにしました。背が高い大きな大きな一本の木を、その「木筆」を使って描きました。



夏休み！キッズ・アース・ギャラリーで絵を描こう！！

夏休み期間中、キッズ・アース・ギャラリーでは毎週金曜日にアートワークショップを行いました。たくさん子どもたちが参加し、植樹を通して地球環境を考えたり、キッズ・アース・ホームのある国々について学びながら、アート制作を行いました。また、今年は「夏」をテーマにしたワークショップも実施。「世界にひとつだけのうちわ」を作成したり、「花火」の絵を描いたり、暑い夏をさらに盛り上げるものとなりました。

ギャラリーでのアートワークショップでは、子供地球基金のモットーであるKids Helping Kids ～子どもたちが子どもたちを助ける～の意義を、子どもたちにも分かりやすく説明しながら、思いやりの気持ちを持って取り組む温かい活動。日本の子どもたちとも、今後が続けていきたいと思います。



KIDS EARTH CAR Project

キッズ・アース・カープロジェクト

慈恵医大 ～ひっかき絵～

子どもたちのリクエストで、2回にわたり「ひっかき絵」のアートワークショップを行いました。初回は、真っ白い模造紙に子どもたちが様々な色のクレヨンを使い、自由に絵を描きました。その後、この絵は、ボランティアの方々の手によってクレヨンで黒塗りに。そして2回目のアートワークショップで、いよいよひっかき絵に挑戦しました。

割り箸やフォーク、ストローなどを使って真っ黒な模造紙をひっかき、下から様々な色が出てくると、子どもたちは「すごーい！色が出てきた！」と大喜び。浮き上がってくる色との出会いに、たくさんの嬉しそうな笑顔がこぼれました。大きな模造紙でのひっかき絵は子どもたちにとっては初めての体験だったため、大興奮のアートワークショップとなりました。



模造紙をクレヨンで塗り潰すのは楽しいな



模造紙をひっかくと様々な色が出てきた！

神奈川県立こども医療センター ～心の奥の想いを表現しよう～

7月11日に行ったアートワークショップは、大きな画用紙に子どもたちが自由に絵を描きました。普段絵を描くことのある子どもたちも、絵の具を自由に、そして使いたいだけ使うとい

う機会はなかなか少ないもの。ワークショップでは、用意されたたくさん色をふんだんに使って、思いきり絵を描きました。なかには、じっくり時間をかけて理想の色を作り出す子どももいて、その目は真剣そのもの。絵が完成すると、院内で展示した後に子供地球基金に寄付することに決めてくれました。私たちの活動のモットーはKids Helping Kids ～子どもたちが子どもたちを救う～です。このアートワークショップに参加した子どもたちの優しい気持ちを、さらに支援を必要とする子どもたちのために還元していきたいと思います。



大きな画用紙に自由に絵を描く子どもたち

子どもたちに絵本をプレゼント

子供地球基金では、国内でもアートワークショップのみならず、寄贈活動も展開しています。この春より、アシェット婦人画報社からご寄贈いただいた絵本を、都内をはじめとする10の病院と、17の幼稚園・児童養護施設に、合計約900冊寄贈しました。各病院・幼稚園・施設では、子どもたちが楽しそうにページをめくって、絵本を読んでいるという光景がよく見られるようです。

今後子どもたちが楽しい時間を過ごせるよう、そして健やかな成長に役立てられるよう、寄贈活動を展開していきたいと思います。

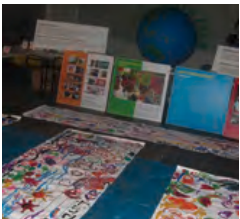
また、これらの絵本は、ベトナムの子どもたちにも寄贈。日本語クラスなどでの利用を通して、興味や理解が深まるきっかけとなればと願っています。

SUMMER SONIC 08 に子供地球基金アートワークショップが登場！

今年で9回目の開催となる日本最大級のロックイベントSUMMER SONIC 08。8月9日（土）10日（日）、東京会場となった幕張メッセのキッズエリアにて、子供地球基金アートワークショップを行いました。

音楽が大好きな子どもたちに用意したキャンパスは、楽譜に見立てた五線譜入り。参加した子どもたちは、楽しんだ音楽を絵に表現するように、大きなキャンバスをたくさん色で埋め尽くしました。

また会場には、9カ国の子どもたちが描いたタペストリーもキッズエリアの壁一面に展示。親子連れだけではなく、たくさんの人々に足を止めてご覧頂きました。



コラム DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol.22

子供地球基金 顧問・スワロフスキー・ジャパン株式会社代表取締役
フランシス プラン氏

今回新たに、すばらしい活動を行っている子供地球基金にアドバイザーとして参加できることを光栄に思います。ここ数年、エコ関連の商品やサービスを提唱する企業がトレンドとなっています。こういった流れによりまさに、「コーポレートソーシャルレスポンスビリティ（CSR、企業の社会的責任）」という概念が浸透し、さらに助長されるようになりました。CSRの活動においては「緑」というものがそここにありますが、ここ数年の間我々が直面している、環境の保全、開発のどちらにも適応していくという課題に喚起を促すという重要な役割を担っています。

チャリティ活動とは、地球をより良くしていくという目的が共通なので順位付けるべきではないですが、私は「子供地球基金」という団体名の中の「子供」「地球」という配列に興味深く思っています。これは、子どもたちへの配慮こそが、環境と地球を本当に大事にしているためにまず大事な要素であることの意味ではないでしょうか。

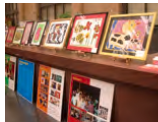
まず先に子どもたちへの配慮を行い、それから、緑のある環境が極僅かではあるけれども、子どもたちの安全な成長を促す環境であることを理解していければいいと思います。子供地球基金のエネルギーやコミットメントには、本当に驚かされています。他の先進国とは異なり、慈善事業が一般的ではなく、それほど発展してはいない日本で、20年間も成功し続けている団体です。この基金の最近のますますのすばらしい成果と勢いを見て、情熱だけではなくと実感するようになりました。そこには、理念を打ち破るほどの創業者の開拓精神も感じます。

子供地球基金が先導を切ることで、各企業が展開するCSRも子供達に基づいた将来をもっと創れるようになっていくのではないのでしょうか。

※コーポレートソーシャルレスポンスビリティとは、ある団体が顧客やサプライヤー、従業員、株主、コミュニティ、ステークホルダー、環境に対する活動に影響を与える社会的責任を考る概念です。この社会的責任は、法律に従うことで法的責任を超えることもあります。団体の慈善活動が、従業員や家族、地元のコミュニティ、社会の品質をさらに改良することにも発展します。



展覧会



●千葉

8/9(土)～8/10(日)
幕張メッセ
SUMMER SONIC 08会場にて

●名古屋・中村区

7/1(火)～
豊田通商
本社センチュリー豊田ビルにて

●東京・千代田区

9/2(火)～10/3(金)
三井住友銀行 東京営業部にて

●東京・千代田区

9/23(火)～10/15(水)
無印良品有楽町 ATELIER MUJIにて

●東京・世田谷区

11/12(水)～12/25(木)
玉川高島屋S・Cにて

●東京・新宿区

11/13(木)～12/19(金)
MUJI新宿 ATELIERにて

●東京・世田谷区

11/22(土)～12月末
東京日産玉川病院にて